

# 北信教育事務所だより 第5号

～教師・学校・地域がつながるために～

付録

## 全国学力・学習状況調査 S-P表 に係わる説明部分

教育課程研究協議会各教科プレゼンからの抜粋

2 ～ 9ページ ; 国語科プレゼンより  
10 ～ 17ページ ; 算数数学科プレゼンより  
18 ～ 27ページ ; 中学校英語科プレゼンより

1

## S-P表について

S-P表とは、全国学力・学習状況調査の結果を、学校や学級単位で、縦と横がそれぞれ児童生徒 (S: Student) と設問 (P: Problem) の正答数の多い順に並べ替えた表の中に、S曲線 (青) とP曲線 (赤) を書き入れたものです。

問題番号	1	4	2	8	3	9	5	10	6	7	
正答人数	10	9	8	6	5	8	7	6	3	1	合計
氏名											正答数
A	3	2	1	2	1	1	1	3	3	1	10
B	3	2	1	2	1	1	1	3	3	99	9
C	3	2	1	2	1	1	1	3	2	6	8
D	3	2	1	1	1	1	1	3	3	5	8
E	3	2	1	2	2	1	1	3	2	8	7
F	3	2	1	2	2	1	1	2	2	8	6
G	3	2	1	2	2	3	99	3	2	8	5
H	3	1	1	1	2	1	1	2	2	6	4
I	3	2	2	4	1	1	99	2	2	99	4
J	3	2	4	0	0	3	0	0	0	3	2

2

## セルの並び方と、S曲線、P曲線について

全国正答率の高い順



3

## セルの色と数字について

正答 → 白  
S曲線より左の誤答 → 黄色  
S曲線より右の誤答 → オレンジ

問題番号	1	4	2	8	3	9	5	10	6	7	
正答人数	10	9	8	6	5	8	7	6	3	1	合計
氏名											正答数
A	3	2	1	2	1	1	1	3	3	1	10
B	3	2	1	2	1	1	1	3	3	99	9
C	3	2	1	2	1	1	1	3	2	6	8
D	3	2	1	1	1	1	1	3	3	5	8
E	3	2	1	2	2	1	1	3	2	8	7
F	3	2	1	2	2	1	1	2	2	8	6
G	3	2	1	2	2	3	99	3	2	8	5
H	3	1	1	1	2	1	1	2	2	6	4
I	3	2	2	4	1	1	99	2	2	99	4
J	3	2	4	0	0	3	0	0	0	3	2

数字：解答類型にある解答

99：分類できない解答

0：無解答

4

## S-P表の活用方法

- ① 全国的な傾向との比較ができます。
- ② 学校・学級ごと、児童生徒ごとの「重点的に指導すべきと考えられる設問」

の把握等により、授業の改善・充実に活用

問題番号	1	4	2	8	3	9	5	10	6	7	
正答人数	10	9	8	6	5	8	7	6	3	1	合計
氏名											正答数
A	3	2	1	2	1	1	1	3	3	1	10
B	3	2	1	2	1	1	1	3	3	99	9
C	3	2	1	2	1	1	1	3	2	6	8
D	3	2	1	1	1	1	1	3	3	5	8
E	3	2	1	2	2	1	1	3	2	8	7
F	3	2	1	2	2	1	1	2	2	8	6
G	3	2	1	2	2	3	99	3	2	8	5
H	3	1	1	1	2	1	1	2	2	6	4
I	3	2	2	4	1	1	99	2	2	99	4
J	3	2	4	0	0	3	0	0	0	3	2

**P曲線（赤実線）が全国平均（赤点線）より上にある設問**  
学校・学級の正答人数の割合が、全国正答率よりも低かった設問

**S曲線（青線）より左側の誤答（黄色セル）**  
この児童生徒にとって比較的正確が容易だったと考えられる設問

**S曲線（青線）より右側の誤答（橙色セル）**  
この児童生徒にとって難解だったと考えられる設問

## 先生方の気づきより「左上の白い三角形」

三角形の面積の広さ：中上位生の安定  
三角形内の黄色セル：比較的容易に解答できたはず

問題番号	1	4	2	8	3	9	5	10	6	7	
正答人数	10	9	8	6	5	8	7	6	3	1	合計
氏名											正答数
A	3	2	1	2	1	1	1	3	3	1	10
B	3	2	1	2	1	1	1	3	3	99	9
C	3	2	1	2	1	1	1	3	2	6	8
D	3	2	1	1	1	1	1	3	3	5	8
E	3	2	1	2	2	1	1	3	2	8	7
F	3	2	1	2	2	1	1	2	2	8	6
G	3	2	1	2	2	3	99	3	2	8	5
H	3	1	1	1	2	1	1	2	2	6	4
I	3	2	2	4	1	1	99	2	2	99	4
J	3	2	4	0	0	3	0	0	0	3	2

## 先生方の気づきより「学級ごとの得意・不得意」

- 問題番号 2：全国正答率より上、指導のよさ  
問題番号 6：全国正答率より下、重点的な見直し

問題番号	1	4	2	8	3	9	5	10	6	7	
正答人数	10	9	8	6	5	8	7	6	3	1	合計
氏名											正答数
A	3	2	1	2	1	1	1	3	3	1	10
B	3	2	1	2	1	1	1	3	3	99	9
C	3	2	1	2	1	1	1	3	2	6	8
D	3	2	1	1	1	1	1	3	3	5	8
E	3	2	1	2	2	1	1	3	2	8	7
F	3	2	1	2	2	1	1	2	2	8	6
G	3	2	1	2	2	3	99	3	2	8	5
H	3	1	1	1	2	1	1	2	2	6	4
I	3	2	2	4	1	1	99	2	2	99	4
J	3	2	4	0	0	3	0	0	0	3	2

## 先生方の気づきより「教員間の情報共有」

同じ学校の違う学級で、様子がまるで異なることも  
→指導の工夫を互いに共有し、活用し合う必要

問題番号	1	4	2	8	3	9	5	10	6	7	
正答人数	10	9	8	6	5	8	7	6	3	1	合計
氏名											正答数
A	3	2	1	2	1	1	1	3	3	1	10
B	3	2	1	2	1	1	1	3	3	99	9
C	3	2	1	2	1	1	1	3	2	6	8
D	3	2	1	1	1	1	1	3	3	5	8
E	3	2	1	2	2	1	1	3	2	8	7
F	3	2	1	2	2	1	1	2	2	8	6
G	3	2	1	2	2	3	99	3	2	8	5
H	3	1	1	1	2	1	1	2	2	6	4
I	3	2	2	4	1	1	99	2	2	99	4
J	3	2	4	0	0	3	0	0	0	3	2

先生方の気付きより「丁寧な指導」

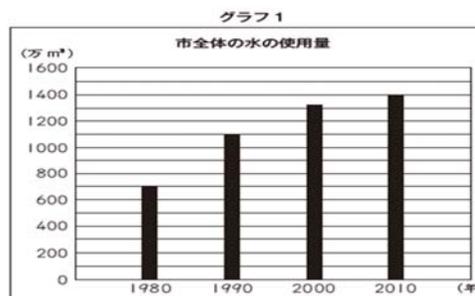
問題番号9：全国正答率より上、H生、I生も正答

問題番号	1	4	2	8	3	9	5	10	6	7	
正答人数	10	9	8	6	5	8	7	6	3	1	合計
氏名											正答数
A	3	2	1	2	1	1	1	3	3	1	10
B	3	2	1	2	1	1	1	3	3	99	9
C	3	2	1	2	1	1	1	3	2	6	8
D	3	2	1	1	1	1	1	3	3	5	8
E	3	2	1	2	2	1	1	3	2	8	7
F	3	2	1	2	2	1	1	2	2	8	6
G	3	2	1	2	2	3	99	3	2	8	5
H	3	1	1	1	2	1	1	2	2	6	4
I	3	2	2	4	1	1	99	2	2	99	4
J	3	2	4	0	0	3	0	0	0	3	2

9

小学校算数 結果を分析し、学習指導の改善・充実へ

全国との差が目立った調査問題（例）



長野県の正答率：  
73.8%  
全国の正答率：  
78.6%  
全国比  
- 4.8%

(2) グラフ1の、2010年の市全体の水の使用量は、1980年の市全体の水の使用量の約何倍ですか。  
答えを書きましょう。

10

小学校算数 結果を分析し、学習指導の改善・充実へ

解答類型に着目する

1	◎	2 と解答しているもの	県0.9%、国0.5% ※基準量と比較量の判断の誤り
2		1/2 または 0.5 と解答しているもの	
3		700 と解答しているもの	
4		7 と解答しているもの	県7.4%、国6.0% ※差への着目
5		1400 と解答しているもの	
6		14 と解答しているもの	
99		上記以外の解答	県13.9% 国11.6% ※.....
0		無解答	

⇒ 99の解答例 200

11

小学校算数 結果を分析し、学習指導の改善・充実へ

〔第3学年〕 D 数量関係

○目的に応じて資料の中の数量の大きさの関係を読み取ることができるようにする。

⇒棒と同じ長さのテープを並べ、数量の大きさの実感的な理解へ。

〔第4学年〕 A 数と計算

○包含除を苦手にしてしている子どもの割合が高い可能性がある。

⇒割り算の意味が広がっていることを整理する場を。

12

全国との差が目立った調査問題（例）

- 5 2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求めなさい。ただし、硬貨の表と裏の出方は、同様に確からしいものとします。

長野県の正答率：  
69.1%  
全国の正答率：  
72.8%  
全国比  
- 3.7%

解答類型に着目する

1	◎	1/4 と解答しているもの。 (数学的に同値と判断できるものを含む。以下同様。)
2		1/3 と解答しているもの。
3		1/2 と解答しているもの。
4		整数の値を解答しているもの。
99		上記以外の解答
0		無解答

【解答類型2】  
県11.0%  
国7.9%

【解答類型3】  
県10.8%  
国10.6%

○樹形図や二次元の表などを利用して起こり得るすべての場合を数え上げ、確率を求めることができるようにする。

⇒表と裏の出方のすべての場合が（表表），（表裏），（裏裏）の3通りであるという誤りを取り上げ、樹形図や二次元の表などを利用して起こり得るすべての場合を落ちや重なりがないように数え上げるといった活動を取り入れる。

○確率を用いて不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え判断することができるようにする。

⇒2枚の硬貨を投げるとき、「2枚とも表になる」場合と、「1枚が表、もう1枚が裏になる」場合のどちらが起こりやすいかを判断する場面を設定する。

☑個で見たときに、どの問題で正答しており、どの問題で正答していないか。

☑左上の色のついたセル

☑赤点線よりも赤実線が上の問題

☑赤点線よりも赤実線が下の問題

☑右下の白色のセル

S-P表を活用した授業改善を進めましょう 【算数数学】

□授業改善の具体を、学年会・教科会で議論しましょう

授業改善シート・補充問題シートの活用を

S-P表とは

【Student-Problem score table】

- ◆クラス全体の傾向
- ◆個の学力の把握
- ◆設問による正答誤答のばらつき



授業の成果を教科会、学校で共有  
授業改善のための資料  
個別の指導・支援

S-P表とは

学級別解答状況整理表 [英語]  
●中学校 第3学年 ●組 サンプル

各問題の全国の正答率  
高 ← — — — — → 低

児童生徒の正答率  
高 ↑ ↓ 低

S-P表とは

学級別解答状況整理表 [英語]  
●中学校 第3学年 ●組 サンプル

青線 (S曲線) : 生徒ごとに、左から数えて正答数の数に当たる所を結んだ線  
赤線 (P曲線) : 問題ごとに、上から数えて正答数の数に当たる所を結んだ線  
赤点線 : 全国の正答数の平均

白色 生徒が正答した問題  
黄色 生徒が正答できなかった問題  
オレンジ色 生徒が正答できなかった問題

## S-P表の活用① 個のつまずきへの支援

学級別解答状況整理表 [英語]  
●●中学校 第3学年 ●組 サンプル

青線より左側の問題 = 児童生徒にとって比較的正答が容易だったと考えられる問題  
早期の適切な指導が有効  
どの部分でつまずいているかを見極めて、  
その部分を重点的に丁寧な指導をすることが求められる

黄色セル (誤答) に着目

21

## S-P表の活用② 得意分野を伸ばす

学級別解答状況整理表 [英語]  
●●中学校 第3学年 ●組 サンプル

青線より右側の問題 = 児童生徒にとって比較的正答が困難だったと考えられる問題  
得意とする分野や理解の進んでいる分野の把握・再確認などにつながる  
当該分野を重点的に指導することで、強みを更に伸ばす上で有効

白色セル (正答) に着目

22

## S-P表の活用③ 指導状況を振り返る

学級別解答状況整理表 [英語]  
●●中学校 第3学年 ●組 サンプル

赤色実線 (P曲線) が赤色点線よりも上にある問題  
= 当該学級の正答人数の割合が全国正答率よりも低かった問題  
当該学級の児童生徒の学習状況や指導の状況などを振り返るポイントに。  
学級全体で重点的に指導すべき問題。  
今後、実態に即した指導・支援の一層の充実が求められる。

赤色実線と赤色点線に着目  
誤答の内容にも注目

23

## S-P表の活用③ 指導状況を振り返る

学級別解答状況整理表 [英語]  
●●中学校 第3学年 ●組 サンプル

5 (1)

ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する。

9 (1) ②

文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する。

赤色実線と赤色点線に着目  
誤答の内容にも注目

24

## H31 英語 5 (1) の調査問題「読むこと」

5

(1) 次の英文を読んで、( ) 内に入る最も適切な語(句)を、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

People go to ( ) when they want to borrow books.  
You can read books or study there.

1 hospitals    2 libraries    3 book stores    4 restaurants

正答率 (%)	全国	79.4	県	78.0	学級	60.6
---------	----	------	---	------	----	------

解答類型	1 (1名)	2 (20名)	3 (10名)	4 (2名)
------	--------	---------	---------	--------

25

## H31 英語 9 (1) ② の調査問題「書くこと」

9 ( ) 内に入れるのに最も適切な語を選びなさい。

① Let's play tennis tomorrow ( ) it's sunny.

1 and    2 if    3 but    4 or

① 正答率 (%)	全国	79.9	県	77.1	学級	78.8
-----------	----	------	---	------	----	------

② I saw a friend of mine at the station, ( ) I had no time to talk to him.

1 if    2 or    3 but    4 because

② 正答率 (%)	全国	58.2	県	55.4	学級	39.4
-----------	----	------	---	------	----	------

解答類型	1 (1名)	2 (2名)	3 (13名)	4 (15名)	無解答 (1名)
------	--------	--------	---------	---------	----------

26

## S-P表を活用して3年生の補充を

S-P表を活用することで見えてくる

- ・ 個のつまずき
- ・ さらに伸ばしたい分野
- ・ 学級全体の課題



授業改善

テスト問題の見直し



27

北信教育事務所では、「北信版S-P表」のエクセルファイルも用意しています。

ぜひ、活用してみませんか。

ご希望する学校は、北信教育事務所までご連絡ください。

28